

2017NAVI オーストラリアキャンプ及び遠征

2017年12月17日

報告者 団 長 宮崎邦宏

コーチ 岩橋恵美

1. 派遣期間 : 平成 29 年 11 月 19 日《日》 ~ 11 月 28 日《火》
2. キャンプ地 : オーストラリア国シドニー市
3. 参加大会 : Koala Mini Challenge (個人戦) 2017Friendship Cup Teams (団体戦)
4. 参加選手 :

<p>☆フルーレ 男子</p> <p>土澤悠貴 大平スポーツ</p> <p>橋本雄偉 日本F研究会</p> <p>小池悠太郎 南箕輪クラブ</p> <p>泉 怜邑 松山ジュニア</p> <p>☆エペ 男子</p> <p>篠原 功 スターフェンシング</p> <p>下村祐翔 山口ジュニア</p> <p>臼井康晴 気仙沼ジュニア</p> <p>☆サーブル 男子</p> <p>前田絆成 SEIBU スポーツ</p> <p>山口李世 プラチナフェンシング</p> <p>齊藤虎ノ介 青森ジュニア</p>	<p>☆フルーレ 女子</p> <p>沼田美咲 青山クラブ</p> <p>堀本菜帆 大阪読売千里</p> <p>大野美麗 京都きっず</p> <p>後藤千里 香川ジュニア</p> <p>☆エペ 女子</p> <p>西岡 瞳 明石ジュニア</p> <p>太田陽詩 奈良ジュニア</p> <p>本間美月 柿木台スケルマ</p> <p>☆サーブル 女子</p> <p>鈴木 凜 光が丘クラブ</p> <p>板橋香菜子 プラチナフェンシング</p> <p>関谷百萌 沼津フェンシング</p>
--	--
5. 引率 団長・監督 宮崎邦宏 コーチ 岩橋恵美 庶務 JTB 杉山里絵
6. 海外キャンプと大会結果

日 付	時間 (現地)	内 容
11月19日 (日曜日)	14時25分	成田空港集合
		結団式
	16時25分	成田空港発 CX521便
	20時55分	香港空港着
	23時55分	香港空港発 CX101便
20日 (月曜日)	12時05分	シドニー空港着
		専用大型バスでホテルへ移動
	13時30分	IBIS SYDNEY WORLD SQUARE HOTEL着
	15時30分	練習場へ移動
	16時~19時	NSW Fencing Centre にて強化練習開始
21日	6時起床	体操/散歩/朝食

(火曜日)	9時～14時 16時～20時	市内異文化・歴史等見学 NSW Fencing Centre にて強化練習	
22日 (水曜日)	6時起床 9時～14時 15時～19時	朝食※雨のため、散歩/体操は中止 市内異文化・歴史・博物館等見学 NEW Fencing Centre にて強化練習	
23日 (木曜日)	6時起床 8時～19時 ※試合の合間にフルーレ強化練習	朝食/試合会場へ移動 エペ・サーブル個人戦	
		エペ男子U13 1位 : 篠原功 3位 : 臼井康晴 9位 : 下村祐翔	エペ女子U13 1位 : 太田陽詩 3位 : 本間美月 5位 : 西岡 瞳
			エペ女子U11 1位 : 本間美月
		サーブル男子U13 2位 : 前田絆成 3位 : 山口李世 9位 : 斎藤虎ノ介	サーブル女子U13 3位 : 鈴木 凜 7位 : 板橋香菜子 8位 : 関谷百萌
			サーブル女子U11 1位 : 鈴木 凜 2位 : 関谷百萌
24日 (金曜日)	6時起床 8時～19時	朝食/試合会場へ移動 フルーレ男子U11、女子U11・U13個人戦 エペ・サーブルU13 団体戦	
		フルーレ男子U11 1位 : 小池悠太郎	フルーレ女子U11 2位 : 堀本菜帆
			フルーレ女子U13 2位 : 後藤千里 9位 : 沼田美咲 12位 : 大野美麗 15位 : 堀本菜帆
		エペ男子U13 2位 : 日本	エペ女子U13 1位 : 日本
		サーブル男子U13 2位 : 日本	サーブル女子U13 2位 : 日本
25日 (土曜日)	6時起床 8時～17時	朝食/試合会場へ移動 フルーレ男子U13個人戦	

	※試合終了後に女子フルーレ、男女サーブル強化練習	フルーレ男子U13 1位 : 小池悠太郎 7位 : 泉 怜邑 15位 : 土澤悠貴 19位 : 橋本雄偉	
26日 (日曜日)	6時起床	朝食/試合会場へ移動	
	8時～15時	フルーレU13 団体戦	
	17時～20時	フルーレ男子U13 2位 : 日本	フルーレ女子U13 2位 : 日本
国際交流会 (HELYさん宅へミニバスをチャーターし移動)			
11月27日 (月曜日)	6時起床	朝食	
	8時～12時	帰国準備、自由行動	
	12時30分	専用大型バスにてシドニー空港へ移動	
	15時50分	シドニー空港発 CX100便	
	21時55分	香港空港着 解団式	
11月28日 (火曜日)	01時05分	香港空港発 CX524便	
	06時15分	成田空港着	

7. 会場へのアクセスについて

新フェンシング専用体育館（常設：約15ピスト）が完成し、15時から21時まで常時練習が可能となった。またこれまでの遠征に於いて非常に悩まされてきたホテルから会場への交通手段をタクシーから電車利用へ変更したことにより（乗り換えなしの3駅という近さ）ストレスなく練習・試合会場に移動できた。移動にはOPALカード（※日本でいうSuica/pasmoのようなもの）を現地で全員分購入し、来年度以降も継続使用ができるようにした。

8. 強化練習について

20日、21日はシドニー選手達と一緒に日本チームのアップを約30分間、3種目のレッスンを約30分、その後レッスンを希望する者とファイティングを希望する者にと別れて、約2時間練習や試合を行った。

9. 試合について

試合結果でも分かるように、これまで上位独占が多かった日本選手団だが、フルーレ男子個人に於いて優勝は日本選手ではあったものの、次が7位、15位、19位であった。シンガポール等周辺諸国の選手の実力が上がり、簡単には上位を占めることが難しくなりつつある。フルーレ女子個人に於いても同じ事が言える。

10. 来年度の大会の変化

2018年度の大会これまでとは変わり下記を予定している。

■開催時期：12月

■開催期間：第1・2日目 エペ・サーブル 個人戦・団体戦
第3・4・5日 フルーレ 個人戦・団体戦

■カテゴリ：U-10、U-12、U-14（現在はU-9、U-11、U-13）

此処で十分な会議を重ねておく必要があるのは、U14（14歳以下）についてである。U-14は日本の中学1・2年生に相当する年齢であり、日本国内においてU-14の選手を選考

する機会を設けるか否かである。ミニム委員会で会議を重ね、選考をしない場合にU-14に関しての自由な参加を認めるのかどうかが問題となるであろう。この件に関しては現地での混乱を避けるためにもミニム委員会で結論を出して貰いたい。

11. 派遣される選手団

日本選手団は43名であった。昨年度の経験から出来るだけ保護者の方々に参加をお願いした事が一因ではあるが、この保護者を含めた人数は妥当か？と言えば少々多すぎたようにも思える。

まだ小学生の選手にとって一番疲労を与えたのは『日本～シドニー』の直行便が手配できず、真夜中の乗り換えを含め『成田～香港～シドニー』となり6～7時間ものロスが生じたことである。幸い選手の大きな体調不良はなかったものの、見守る保護者にとってはストレスとなったことに違いない。また空港～ホテルへのバスに関して、大型が必要となった。さらに、食事面でも皆で入れるレストランではなく、親子グループに分かれて摂ることをこちらでお願いしたこともあり、選手たちの団結を見出すのに時間を要した。初めての遠征、また語学の面でも慣れない場所でのレストラン探しは同行の保護者にも負担となったであろう。試合時の昼食は、JTBの杉山添乗員のご尽力により和食のお弁当を現地で2回手配した。日本のお弁当と全く変わらない味に選手にも保護者にも好評であった。

来年度はこのあたりも事前の打ち合わせなどを入念に行い、人数と予算に応じた対応ができるよう配慮していきたい。

12. コーチに関して

同行の保護者の中に各種目のコーチをお願い出来る方々がたくさん参加されていた。またこれまでの遠征では帯同審判を用意しておらず開催国には申し訳なかったが、今回はサーブル選手保護者の前田様と関谷様が、自分の子供の予選中にも関わらず、日本選手団の意を汲み、サーブル審判を務めてくださったことに大変感謝している。

13. 海外遠征に於ける教育

今回の遠征に於いては各種目の力のあるコーチが保護者として一緒に遠征団に参加してくれたことは随分と助けられた思いがある。しかしながら小学生の遠征はあくまでも教育の一環としての遠征であるので、カデやジュニアの遠征と違い、結果ばかりを追わず、外国の選手も含めた個々やチームとして仲良くなり、海外の歴史や其処に暮らす人々と意志を通じあう時間を見つけるも大事であろう。

また、子供が自分の身の回りのことを自分で行うという育成という意味では、このあたりの成長が少し例年に比べ希薄であったことは否めない。

可能であるならば、事前に国内キャンプなども行えると遠征先でもまた違った成果が得られるかもしれない。

14. おわりに

今回からは新しいフェンシング専用施設での開催により、試合進行も非常にスムーズであった。また宿泊ホテルからのアクセスも非常に良かったが、飛行機の便は残念であった。体調不良を訴える選手もなく、何より良かったのは、日本選手団全員がメダルを持ち帰れた事である。この事についてはそれぞれの選手を送り出してくれた個々のクラブの監督・コーチのたゆまぬ努力の表れであると思う。

最後に、帰国前夜に我々日本選手団全員43名の監督・コーチ・総務・選手・保護者をさよならパーティに招待して下さったHELYさん一家に最大の感謝の意を捧げたい。少々冷たかったプールで、楽しく泳いでくれた選手の皆さんにも「ありがとう！」と言いたい。喜んで泳ぐ子どもたちの様子をHELYさん一家が優しい笑顔で見守ってくれていたこと、緊張から解放された保護者の皆さんがとても楽しそうにHELYさん一家と談笑する風景が、

バーベキューパーティを通じて見て取れたことなど、目前のシドニー湾に沈む夕日の美しさ以上に日豪親善の成果があったと思われる。

以上

